

平成24年11月19日（月） 9時30分～12時15分 江別市役所2階 公室

会議概要

冒頭に「次第2.企画政策部長より挨拶」があり、次に委員長・両分科会長より「次第3.今年度の外部評価作業について」において、各施策・基本事業への評価概要が伝えられた。その後、「次第4.行政評価外部評価報告書（案）について」において同報告書（案）を精査（精査内容等は議事録を参照のこと）したのち、「行政評価外部評価報告書」として平成24年11月30日に三好市長へ手交することを各委員に周知した。

精査作業

・出席委員

齊藤委員長、山下分科会長、井上分科会長、加藤委員、
小野寺委員、高田委員、清水委員、桑名委員

・事務局（政策調整課）

鈴木企画政策部長、米倉企画政策部次長、川島課長、稲田主査、竹下主任、馬場主事

▼総括部分

【齊藤委員長】

2ページ目の2段目、9月24日に外部評価をした施策名は「高齢者福祉の充実」なので訂正願いたい。

【事務局】

了解した。

【加藤委員】

第2分科会で全体を通して感じたことなのだが、市として一生懸命行っていることを市民に知ってもらう意味でも、それが成果指標で表せない場合には活動指標を設定して見せていった方がよいのではないか。ここでの文章表現としての指摘ではないが、今後の検討材料の1つにしてほしい。また、行政側の捉え方によって、成果指標と活動指標の垣根が曖昧になっているようなものがあるように感じる。

もう1点、1ページで私の所属が「環境システム学科」となっているが、正しくは「環境システム学部」なので訂正をお願いしたい。

【齊藤委員長】

1点目の意見については、文章そのものに変更を加えるものではないが、今後は活動指標と成果指標の考え方についてももう少し明確な棲み分けが必要であるということであったかと思う。行政評価の今後に向けて検討してみたい。

【小野寺委員】

その意見に関連して、第5次総合計画の評価システムである「PDSサイクル」は具体性に欠ける。その意味で「PDCAサイクル」というシステムを導入した方が実現性のあるきめ細やかな評価に繋がるのではないかと思うので検討していただきたい。

【井上分科会長】

他市に比べて評価できることをやっている場合もあると思うので、その部分が表現できるような評価表の体裁となればよいのではないかと思う。もしくは、そのような部分が読み取れるような達成状況の記載方法を今後検討してみてもよいのではないか。

【事務局】

市の活動を市民の方により理解していただけるような表現方法や活動指標というものを検討していきたい。現在の行政評価のシステムが成果指標に力点を置いている部分があるため、委員に指摘いただいたように評価できるようなことが見えづらくなっている部分も出てくる。現在策定中の次期総合計画においては、これから庁内検討に入っていくので特に委員より指摘のあった成果指標の部分に関しては、各所管とヒアリング等をする際に十分留意しながら話を進めていく。また、同様に市の活動の上手なアピール方法・発信方法も検討していきたい。

また「PDCAサイクル」については市としても重要だと考えており、次期総合計画の策定基本方針では「PDCAサイクル」を打ち出そうという方向で進めている。

今後、次期総合計画に向けて江別市としての外部評価をどのようにしていくかということについても機会があれば各委員から意見等を頂き、整理していきたいと考えている。

▼施策01-01 循環型社会の形成

【井上分科会長】

施策・基本事業の評価は行政評価外部評価報告書(案)のとおりである。このまま報告書としてまとめたいと考えているがどうか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策01-03 水とみどりの保全と創出活用

【山下分科会長】

9ページの施策名は「水とみどりの創出活用」が正しいので修正していただきたい。その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策02-02 工業の振興と産学官連携の推進

【加藤委員】

14ページの担当部署の対応中段で、「新規立地企業の業態」とあるが、工業に絞った産業振興であるので、「業態」ではなく「業種」とした方が正しいので修正していただき

たい。

【齊藤委員長】

その他の部分は施策・基本事業ともに報告書(案)のままでよいか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策03-02 健康づくりの推進

【井上分科会長】

21ページの委員の意見の欄に「なんらかの指標などで表現できないか研究してほしい。」とあるが、ここは「検討してほしい。」と修正していただきたい。

その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないかと。

【各委員】

(異議なし)

▼施策03-04 障がい者福祉の充実

【山下分科会長】

26ページの担当部署の対応の欄の書き出しに『「』を補記していただきたい。また、4行目の文章は左に寄せることができるので訂正をお願いしたい。

その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないかと。

【各委員】

(異議なし)

▼施策03-05 高齢者福祉の充実

【井上分科会長】

34ページの委員会の指摘事項等で5行目に「どのようなことをしているのか」とあるが、「どのようなことをしているか」の間違いである。訂正をお願いしたい。

その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないかと。

【各委員】

(異議なし)

▼施策03-06 社会保障の充実

【山下分科会長】

施策・基本事業の評価は行政評価外部評価報告書(案)のとおりである。このまま報告書としてまとめたいと考えているがどうか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策04-05 上下水道の整備

【井上分科会長】

41～42ページのとおり広範にわたって指摘があることもあり、施策の評価は「概ね適切」と改めた方が良く思うのだがどうか。

また、2つの基本事業名がどちらも間違っているのので、訂正していただきたい。

その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないかと。

【各委員】

(異議なし)

▼施策04-06 電子情報化の推進

【山下分科会長】

48ページの委員の意見の2つ目・3行目に「パソコン教室を開催によって」とあるが、「パソコン教室を開催することによって」と訂正をお願いしたい。

その他の部分は施策・基本事業ともにこのままでよいのではないかと。

【齊藤委員長】

担当部署の対応で「(平成24年度中に対応済)」という表現がいくつかあるが、この部分について事務局からの説明をお願いしたい。

【事務局】

この部分は外部評価を行う時期が早かったため、市民向けに公表する前に指摘を反映させた訂正ができた。つまり、本来であれば今年度いただいた指摘には来年度以降に所管課等に対応するのだが、委員会を行った時期によっては施策マネージャーの意向もあり、今年度の指摘を今年度すぐに対応することができたものがあったということである。

ただし、報告書全体のバランスを考えてこの部分は記載しないということや、何らかの補記等を加えることは可能である。

【齊藤委員長】

自己評価そのものも補記されているのであれば、委員会の指摘自体が成り立っていないように捉えられる可能性があり混乱を招くのではないかと。

また、他の施策と比べた際に、このようにいくつかの施策・基本事業だけが「対応済」となっていることが市民目線でどのように映るのかという問題もあるように思う。

【桑名委員】

この部分以外にも「対応済」としている部分が見られ、この記載をもって悪い印象は受けない。

【山下分科会長】

他の施策で「対応済」としているものはあるのか。

【事務局】

政策06-施策02「男女共同参画社会の形成」と、政策07-施策03「開かれた行政づくり」が該当する。

資料は、評価していただいた時点でのデータを付している。

【井上分科会長】

それはこの内情を知っている方からすると問題ないかもしれないが、それ以外の人からすると違和感を持つ可能性があるのではないかと。

【山下分科会長】

なぜほかの施策は「対応済」ではないのか、という疑問を抱くのではないか。

【井上分科会長】

この「対応済」の部分だけが明らかにほかの施策とは対応が違うということを網掛けにするなど明確にしたほうがよいのではないか。

【清水委員】

枠外に注釈を付記するなど対応できないか。

【齊藤分科会長】

網掛けは目立ちすぎるので、注釈を付記する方が好ましいのではないか。

【事務局】

各委員からの意見を参考にしつつ、再度この部分の表現方法に関しては検討する。

【齊藤分科会長】

われわれ委員としては、指摘したことはその年度のうちに直した方が良いと考えてそもそもは評価をしているため、即座に対応したこと自体に問題があると考えているわけではない。外部評価の仕組みが、翌年度に対応することを基本的な考えとしているのでこのような議論になる。このことについての議論も今後必要になってくるのかもしれない。

また、47ページで委員の指摘事項等で「少し大袈裟な表現ではないか」とあるが、ここは「もう少し具体的な表現が必要ではないか」と修正してほしい。

これらの部分以外は施策・基本事業ともにこのままで報告書としてまとめて問題ないか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策04-07 消防・救急の充実

【井上分科会長】

49ページの政策04-施策07「消防・救急の充実」では、委員会の議論を通して「要検討」と評価したが、指摘の内容等から鑑みると「概ね適切」に変更した方が良いでしょう。

また、同様に51ページの基本事業01「防火機能の充実と啓発」でも指摘事項が要望ともとれるため、「要検討」と評価したが「概ね適切」とした方がよいのではないか。

最後に、52ページの基本事業02についても指摘事項から鑑みて「適切」よりも「概ね適切」としたほうが良いでしょう。

その他の部分に関しては原案のとおりで良いのではないか。

【各委員】

(異議なし)

▼施策06-02 男女共同参画社会の形成

【齊藤委員長】

施策・基本事業の評価は行政評価外部評価報告書（案）のとおりである。このまま報告書としてまとめたいと考えるがどうか。

【各委員】

（異議なし）

▼**施策07-02 地方分権・広域行政の推進**

【山下分科会長】

施策・基本事業の評価は行政評価外部評価報告書（案）のとおりである。このまま報告書としてまとめたいと考えるがどうか。

【各委員】

（異議なし）

▼**施策07-03 開かれた行政づくり**

【井上分科会長】

施策・基本事業の評価は行政評価外部評価報告書（案）のとおりである。このまま報告書としてまとめたいと考えるがどうか。

【齊藤委員長】

66ページの2つ目の指摘の対象が【全体】となっているが、中央に記載するのではなく他の記載に合わせて左上に移動させたほうがよいと思うので修正していただきたい。

【井上分科会長】

そうした上で【全体】という項目は最後の指摘として並べ方を変更してはどうか。

【事務局】

了解した。

【齊藤分科会長】

その他の部分に関しては、原案のままでもよいのではないか。

【各委員】

（異議なし）

【齊藤委員長】

それでは「次第4. 行政評価外部評価報告書（案）について」を終了とする。

続いて「次第5. 各委員より外部評価制度へのご意見等」であるが、なにか意見等あるか。

【山下分科会長】

報告書全般にわたる表記の問題なのだが、担当部署の対応の部分で「検討する」としているものと「検討したい」としているものが混在しているので整理をしていただきたい。

【小野寺委員】

関連する意見なのだが、この報告書に限らず、江別市として統一した表記が必要となる場合もあるのではないか。例えば、「こども」を「子ども」と記載するのか「子供」と記載するのかということや、「とりくむ」を「取り組む」と記載するのか「取組む」と記

載するのかということである。江別市として国語担当主事がいるはずなので、そのような専門家にすべて公文書は読んでもらうような対応も必要なのではないか。

【事務局】

公文書全般に関わる部分に関してはそのように整理をしていくことを検討したい。

また、行政評価外部評価報告書については、極力議論の中で出てきた表現を活かして作るということを念頭に置いていたが、確かに委員の指摘のように公文書であることに違いはないので、適切な表現に改めた方が良い部分に関しては修正して公表したい。

【齊藤委員長】

了解した。

他に意見等ないようなので「次第5.各委員より外部評価制度へのご意見等」を終了する。

続いて「次第6.市長への報告について」について私の方から口頭で説明する。

11月30日(金)午前9時より江別市役所2階公室にて三好市長へ行政評価外部評価報告書を手交する予定である。概ね30分から1時間程度であるので、都合の良い方は是非参加をお願いしたい。

それでは「次第6.市長への報告について」を終了する。

《齊藤委員長より謝辞》

【事務局】

《川島政策調整課長より謝辞》

【齊藤委員長】

それでは、これをもって平成24年度第5回行政評価外部評価委員会を閉会とする。

12:15終了。